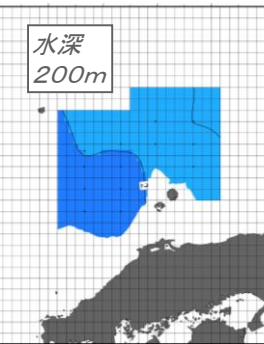
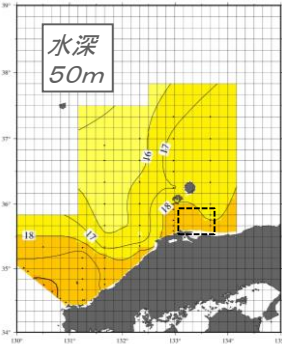


隠岐海峡と鳥取県沖(点線範囲内)の平均水温は18.3℃を示しています。
【前年差: -0.36℃、平年(直近30年)差: -0.16℃】

平均水温は18.7℃を示しています。
【前年差: -1.79℃、平年(直近30年)差: -0.52℃】



平均水温は18.2℃を示しています。
【前年差: -0.47℃、平年(直近30年)差: -0.30℃】

目立った暖水域は確認されませんでした。

水産試験場

令和6年度第1回境港地区漁況連絡会議

境港地区の水産関係者の方を対象に、当場の研究員から水温等の海洋環境や、アジ・サバ・イワシといった浮魚、ズワイガニを中心とした底魚の漁獲様や今後の見通しについて報告する連絡会議を12月12日(木)に県境港水産物地方卸売市場の大研修室にて行いました。当日は、師走のお忙しい中、40名を超える方々にご参加いただき、誠にありがとうございました。各報告内容の概要は以下のとおりです。

1月上旬の漁況予報

- 鳥取県沿岸の水温は、平年並みで推移
- 鳥根沖冷水は、N35°25'以北まで接岸
- 山陰・若狭沖冷水の張り出しは不明
- 対馬暖流は、鳥根沖冷水の13℃等温線に沿って流れ、鳥取県東部～兵庫県沖ではN36°以北を北東に向かう流れが生じると考えられる。

各魚種の漁況の見通しまたは直近の漁況

魚種	予報期間	コメント
浮魚	スルメイカ	12～2月 前年並みとなり、平年(直近5年)を下回る
	マイワシ	前年並み(去年主採となる0歳魚 15cm未満)の秋の漁況が好調。資源量・加入量も増加傾向)
	マサバ	1～3月 平年を上回る(2024年の1～2月及び5月～6月の漁況が好調。資源量・加入量は近年回復)
	マアジ	平年を下回る(2024年における日本海側の漁況が低調。加入量指標は前年やや増加)
底魚	松葉がに	11月6日～翌年3月20日 前年並みで、平年を下回る(11月末までの漁獲量は前年・平年を下回る状況で前年より大型サイズの漁獲数減少)
	親がに	11月6日～12月31日 漁獲数制限により前年・平年並みの漁獲量となり、資源は高水準な状況が継続(11月末までの漁獲量は前年を上回り、平年並)
	若松葉	2月1日～2月末日 漁獲数制限を強化するため、漁獲量は前年より減少する。資源状況は前年・平年を上回り回復傾向が見られる
	魚種	直近の状況
	ソウハチ	漁獲量は前年を下回り(47.9%)、平年を下回った(平年比35.6%)
	マダラ	漁獲量は前年を上回り(183.2%)、平年を上回った(平年比126.6%)
	ホッコクアカヒ	漁獲量は前年を上回り(前年比145%)、平年を上回った(平年比128.4%)
アカガレイ	漁獲量は前年を下回り(前年比50.5%)、平年を下回った(平年比62.5%)	
全体	漁獲量は前年並(前年比96.9%)、漁獲金額も前年並(前年比107.4%)。カレイ類(ソウハチ、アカガレイ)の漁獲状況が低調で漁獲量は前年からやや減少したが、アカムツ、マダラ、あかび等が高単価で、漁獲金額は高い水準を維持した	

令和6年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町92番地1 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

12月上旬の水塊配置と対馬暖流

鳥根沖冷水域	鳥根県沖のN35°20'以北に冷水域が認められました。隠岐諸島北方のN37°以北に冷水域が認められました。
山陰・若狭沖冷水域	該当海域で未観測のため不明。
対馬暖流の流路	主流は朝鮮半島東岸に沿って北方に向かい流れ、主流の一部は鳥根沖冷水域及び隠岐諸島北方冷水域に沿って流れると考えられます。

境港水産事務所 第22回カニ感謝祭 開催！！

ベニガニ水揚げ日本一の境港で毎年恒例の**カニ感謝祭**が開催されます！

◎日時: 令和7年1月19日(日) 午前10:00～

◎場所: 水木しげる記念館 スタート

◎開催予定イベント

- カニ汁ふるまい(先着300杯)
- 先着300人にカニをプレゼント!
- (※水木しげるロードで500円以上の買い物物をされた方が対象)
- 境港大漁太鼓
- カニ感謝祭式典、カニパレード
- カニ奉納、鬼太郎音頭

カニづくしの境港へぜひお越しください！

栽培漁業センター マナマコ(アオ型、クロ型)の夏産卵を初めて確認

マナマコは春から初夏にかけて産卵するとされていましたが、今回の調査でアオ・クロ型は真夏に産卵していることを確認しました。効率的なアオ・クロ型の稚ナマコの採苗方法を確立するため、来年度も調査を続けます。

背景 漁業者から、「マナマコ(特にアオ・クロ型)を増やしたい」という要望があったが、成熟個体が見つけれないため産卵時期が特定できず、増殖策が提案できなかった。調査 2019～2024年にかけて泊瀬漁港及び夏泊瀬漁港でマナマコ(アオ・クロ型)を採集した。生漁業の重量測定と卵母細胞の組織観察により成熟の季節変化を調べた。結果 マナマコ(アオ・クロ型)のメスは6月及び8-9月に、オスは7-9月に成熟していることを確認し、夏が産卵の盛期であることが分かった。

8月のメスの卵母細胞

潮に夢を 共和水産株式会社

代表取締役 橋津 寛

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530